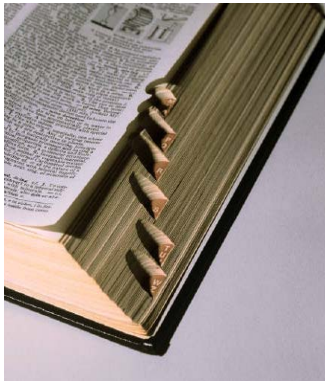


2019年度
日本女子大学家政学研究科
通信教育課程家政学専攻案内



日本女子大学大学院



日本女子大学通信教育課程家政学専攻は、2007年4月に開設された日本で最初の「家政学」分野の通信制大学院です。「家庭科教育」「家庭管理・経営」「衣生活」「食生活」「住生活」「児童発達」「消費・環境」「学校教育」の8つの学修領域を中心に、広く生活全体に目を向け広範囲な視点から教育研究することを目的としており、家政学の教授法を中心に周辺領域を関連づけて教育研究する趣旨から、総合的にバランスを考えたカリキュラムを編成しています。本専攻修了者には「修士（家政学）の学位」が授与されます。



家政学専攻の教育研究

入学を希望される場合は、入学説明会等の機会を利用して、出願前に個別にご相談いただくことを原則としています。

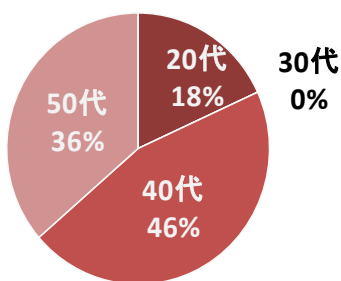
各領域の詳細および特別研究指導教員につきましては、通信教育課程家政学専攻ホームページをご覧ください。

 8つの学修領域	 ■ 家庭科教育領域	 ■ 家庭管理・経営 領域
 ■ 衣生活 領域	 ■ 食生活 領域	 ■ 住生活 領域
 ■ 児童発達 領域	 ■ 消費・環境 領域	 ■ 学校教育 領域

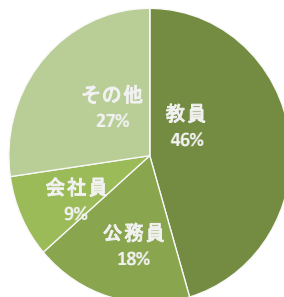


家政学専攻在学生に関するデータ(2018年度)

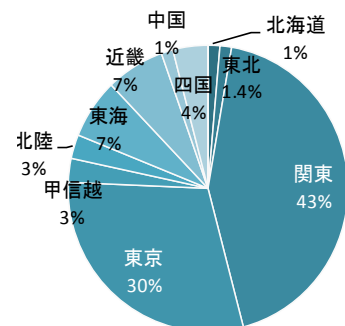
年齢別



職業別



居住地別 (2007～2018年)



関東は東京を除く。
九州・沖縄・その他は0名。

入試データ (2007～2018年)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
出願者	26	18	13	11	12	7	10	7	5	3	5	8
合格者	16	12	5	8	7	6	4	4	4	3	3	5



学修方法

通信教育課程家政学専攻で提供する授業科目は、テキスト科目(T) (印刷教材による授業)、スクーリング科目(S) (面接授業)、放送授業科目(H) (VOD配信による放送授業)、T・S科目 (テキスト科目とスクーリング科目を組み合わせた科目)、H・S科目 (放送授業科目とスクーリング科目を組み合わせた科目) いずれかの形態で開講しています。学修システム「JWU ONLINE」を利用した、単位修得までの流れをご案内します。

JWU ONLINE



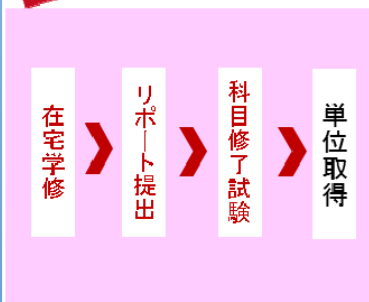
インターネットを利用します

通信教育課程家政学専攻ではVOD教材の配信、資料・教材の提供、レポートの提出、授業担当者から履修学生への連絡、大学からのお知らせなどをインターネット上のシステムJWUOnlineを利用して行っています。

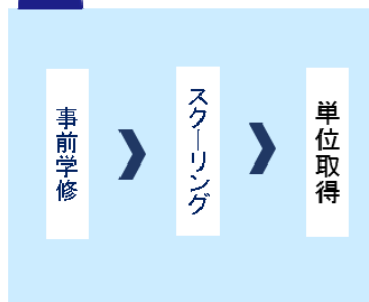
以下の環境での正常は動作と表示をサポート対象とします。
OS Windows/Mac
ブラウザ Internet Explorer/Safari/Edge/Chrome



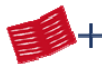
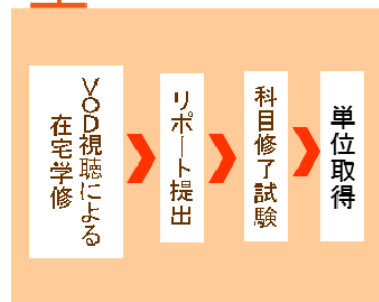
テキスト(T)科目



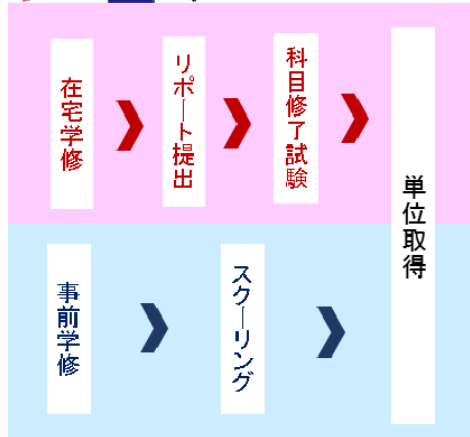
スクーリング(S)科目



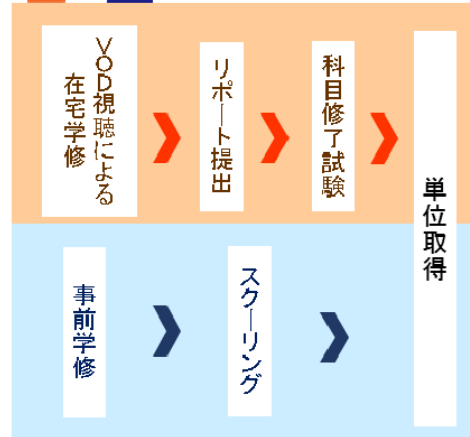
放送授業(H)科目



T・S科目 (テキスト・スクーリング科目)



H・S科目 (放送授業・スクーリング科目)



- 在宅学修 ……テキスト・参考文献、授業科目担当教員が執筆した「学修ガイド」に沿って学修・研究を進める。放送授業科目は、VOD視聴による学修を行う。
- レポート提出…1単位につき1課題(3,000~4,000字)のレポートを作成し、提出する。
- スクーリング…原則として夏期・土・日・祝日に行う。
- 科目修了試験…レポート試験、筆記試験、口述試験のいずれかで行う。

2018年度現在。今後、学修システム変更の可能性があります。



カリキュラム 授業科目表(2018年度)と修了要件

修了要件は、「2年以上在学し、履修授業科目について次の①～③を含めて32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること」です。

2019年度授業科目表および特別研究指導教員は、後日通信教育課程家政学専攻ホームページに掲載します。

系列区分	授業科目名	単位数	履修区分
基盤科目	家庭科教育特論 I	選必2	T・S
	家庭管理・経営特論	選必2	T
	衣生活学特論	選必2	H
	食物学特論	選必2	T・S
	住居学特論	選必2	T
	児童学特論	選必2	T
	消費・環境学特論	選必2	T・S
	コミュニティと学校教育論特論	選必2	H・S
演習科目	家庭科教育特論演習	選必4	T・S
	家庭管理・経営特論演習	選必4	T・S
	衣生活学特論演習 I	選必4	T・S
	衣生活学特論演習 II	選必4	T・S
	食生活学特論演習	選必4	T・S
	住生活学特論演習	選必4	T・S
	児童学特論演習 I	選必4	T・S
	児童学特論演習 II	選必4	T・S
	消費・環境学特論演習	選必4	T・S
コミュニティと学校教育論特論演習	選必4	T・S	
関連科目	家庭科教育特論 II	選択2	T・S
	家族関係特論	選択2	T・S
	食教育特論	選択2	T
	住教育特論	選択2	T・S
	地域生活保障特論	選択2	T
	生活公共ガバナンス論	選択2	T・S
	服飾文化特論 I	選択2	T
	服飾文化特論 II	選択2	T・S
	染織文化特論	選択2	T・S
	衣服材料特論	選択2	T・S
	服飾管理特論	選択2	T・S
	食管理特論	選択2	T
	児童発達特論 I	選択2	T
	児童発達特論 II	選択2	T・S
	児童発達特論 III	選択2	T
	家政学研究法演習 I (論文作成法)	選択1	S
	家政学研究法演習 II (統計処理)	選択1	S
	家政学資料研究演習	必修2	S
	特別研究	必修8	

①基盤科目から
4科目8単位
以上

②演習科目から
1科目4単位
以上

③
家政学資料研究
演習2単位
+
特別研究
8単位

合計
32単位
以上



修士論文 コース別スケジュール

授業科目の履修と並行して、1年次から特別研究の指導を受けながら修士論文作成のための研究を進めます。入学試験時に決定するコース(2年制/3年制コース)にしたがって、指導教員からマンツーマンの指導を受け、修士論文の提出を目指します。

家政学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【修士課程】

(研究指導方針等)

家政学の広い視点から基礎を学び、さらに学生の専門領域に合わせて深く研究し、修士論文を作成する。主査を中心に学内の3名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得すると共に学術情報発信の実験を経験するため、学会への参加が奨励される。

年次	内容	研究指導概要
1年次		
4月	オリエンテーション・履修ガイダンス・修士論文中間発表会(聴講)への参加	指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導を行う。オリエンテーションの一環として2年生が行う修士論文中間発表会に参加し、研究や論文作成方法を習得する。
5月	研究テーマの提出	指導教員による修士論文作成指導・研究指導
6月	面接指導 個人研究の推進	
8月	面接指導	
9月	研究計画書の提出 個人研究の推進	
1月	面接指導	
2年次		
4月	修士論文中間発表会で報告	中間発表会で問題点等を指摘及び指導する。
6月	面接指導	中間発表会で問題点等を踏まえた研究指導
7月	草稿の提出	
8月	面接指導	
9月	草稿の再提出	
10月	面接指導	
11月	修士論文提出の許可判定	修士論文審査委員会の設置 修士論文審査の実施 最終試験(口述試験)の実施 修士論文可否の決定
1月	修士論文提出	
2月	審査・口頭試問実施 修士論文発表会	
3月	研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与	

※上記は2年制コースの場合であり、3年制コースは2年次を2年間かけて指導する。状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

2016年度～2017年度修了者の修士論文題名一覧

- 病児保育の利用に関する一考察ー施設主体の広報活動と利用者数の関係に着目してー
- 高校生への生涯を見通す学習プログラムの提案ー学校設定科目家庭科「ライフプランニング」の授業実践と成果の分析を通してー
- 岩泉町八重樫家伝来の縞帳の特質ー南部紫の伝承と糸密度・意匠に着目してー
- 砂糖摂取量に関する栄養教育の評価ーマレーシア大学生の事例ー
- 食を通じた異文化理解の促進ー家庭科における異文化理解教育の可能性についてー



出願期間・試験日程

詳細は、通信教育課程家政学専攻ホームページに掲載する「募集要項」で確認してください。

- 募集人員** 大学院家政学研究科 通信教育課程家政学専攻（修士課程） **20名**
- 出願期間** 2019年**2月4日（月）～2月8日（金）必着**（郵送）
2月8日（金）のみ窓口受付を行います。窓口受付を希望する場合は、2月7日（木）17:00までに通信教育課大学院係へ申し出てください。
※特別な出願資格での受験希望者の通信教育課への申出期限2018年10月26日（金）
- 試験日** 2019年**2月23日（土）**



入学説明会

入学を希望される方は、入学説明会等の機会を利用して、各領域担当教員との個別相談をしてください。

	開催日	時間	場所
日本女子大学主催	2018年12月8日（土）	13:30～15:30	本学目白キャンパス （教室未定）
	2019年1月26日（土）	13:30～15:30	

通信教育課程家政学専攻では、出願前に専攻を希望する研究領域の教員と面談していただくことを重視しています。入学を希望される方は、入学説明会等の機会を利用し、通信教育課程家政学専攻教員と面談してください。本学主催の入学説明会への参加を希望される場合は教員のスケジュールを調整し、できる限り当該分野担当者が受験希望者と面談するようにいたします。

面談希望の方は、住所・氏名・連絡先（電話またはメールアドレス）・家政学専攻での研究希望領域（家庭科教育 家庭管理・経営 衣生活 食生活 住生活 児童発達 消費・環境 学校教育）を明記のうえ、メールにて各開催日の1週間前までに、pamphlet@atlas.jwu.ac.jp宛お申し込みください。



その他のご案内

● 長期履修学生制度

通信教育課程家政学専攻では入学出願時に本学大学院長期履修学生制度に基づき、修業年限を3年とする履修コース（3年制コース）を選択することができます。入学選考時に出願者の状況を考慮し、長期履修が適当かどうか判定します。いったん3年制コースを選択した場合、2年制コースへの変更はできません。

● 学内施設の利用等

図書館、コンピュータ演習室が利用できます（目白・西生田両キャンパス）。通信教育のリポート等の郵送には第4種が適用され、郵便料金の負担が軽減されます。スクーリング等に参加するための鉄道運賃割引があります（片道100km以上、科目等履修生は除く）。勤労学生の所得税控除が適用されます（適用の詳細は居住地の税務署にお問い合わせください）。奨学金が受けられる場合があります。

● 科目等履修生

科目等履修生は通信教育課程家政学専攻の開講科目のうち、特定の科目だけを履修する学生です。在学期間は1年間で、履修登録できる上限単位数は年間10単位です。2019年度の「科目等履修生出願要領」等は2019年1月下旬に本学通信教育課程家政学専攻ホームページに掲載する予定です。出願資格は本学大学院出願資格に準じます。

※ 教育職員免許状について

通信教育課程家政学専攻では、2019（平成31）年度教職課程再課程申請を行わないことが決定しました。このため、中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭）は、2019年度入学者より取得できません。

● 教育訓練給付金（一般教育訓練給付）について

教育訓練給付金制度とは、受講資格のある方が指定講座を修了した場合、所定の手続を取ることで、受講に要した入学金及び授業料に関わる費用の20%に相当する額（上限10万円）が、ハローワークから教育訓練給付金として支払われる制度です。本専攻で2年制コースはこの制度の指定講座となっています。受講資格の有無については、ご自身の住所を所轄するハローワークへ照会の上、手続を行ってください。

講座の名称	日本女子大学大学院家政学研究科通信教育課程家政学専攻		
実施方法	通信	指定講座番号	63251-081001-7
講座の創設年月日	2007(平成19)年4月1日	教育訓練給付金対象講座の指定期間	2020(平成32)年3月31日まで
過去1年の講座実績	入講者数（累積）	11人	修了者数 4人
訓練期間	24カ月	総訓練時間	960時間
受講するに当たって必要な実務経験等	①大学院入学資格を有する者。 ②2年制コース対象		
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	修士(家政学)		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	日本女子大学大学院家政学研究科通信教育課程家政学専攻		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	修士課程に2年在学し、履修授業科目について32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、その専攻するところに従い修士の学位を授与する。		
(1) 資格取得状況			
年度内の受講修了者数	4人		
のうち目標資格の受験者数	4人	受験率 (②/①)	100%
のうち合格者数	4人	合格率 (③/②)	100%
記②・③の回答者数	4人		
(2) 受講修了者による講座の評価等			
答者総数		4人	
②受講開始時の就業状況等	1正社員	2人	②A:就業者計 4
	2非正社員、派遣社員	1人	
	3その他の就業（自営業等）	1人	
	4学生		②B:非就業者計
	5求職中		
	6その他（主婦、無職等）		
③就業中の受講者による講座の評価	1処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	1人	③の回答数合計 4 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2配置転換等により希望の業務に従事できる		
	3社内外の評価が高まる	1人	
	4円滑な転職に役立つ		
	5趣味・教養に役立つ		
	6その他の効果	2人	
	7特に効果はない		
④就業していない受講者による講座の評価	1早期に就職できる		④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2希望の職種・業界で就職できる		
	3より良い条件(賃金等)で就職できる		
	4趣味・教養に役立つ		
	5その他の効果		
	6特に効果はない		
⑤受講者の就業状況	1受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2受講修了後3～6か月以内に就職した		
	3受講修了後6～12か月以内に就職した		
	4就職していない		
⑥講座の全体評価	1大変満足	1人	⑥の回答数合計 4 ※①と同数(又はそれ以下)
	2おおむね満足	3人	
	3どちらとも言えない		
	4やや不満		
	5大いに不満		

給付制度担当部署	日本女子大学通信教育・生涯学習事務部通信教育課大学院係
連絡先	T E L : 03-5981-3220 E-mail : pamphlet@atlas.jwu.ac.jp

日本女子大学大学院 家政学研究科通信教育課程家政学専攻

【問合せ】

月～金 9:00～16:30 土 9:00～11:30(日・祝は閉室)

〒112-8679 東京都文京区目白台2-8-1

日本女子大学通信教育課 大学院係

電話: 03(5981)3220

電子メール: pamphlet@atlas.jwu.ac.jp

URL: <http://www.jwu.ac.jp/ccde>